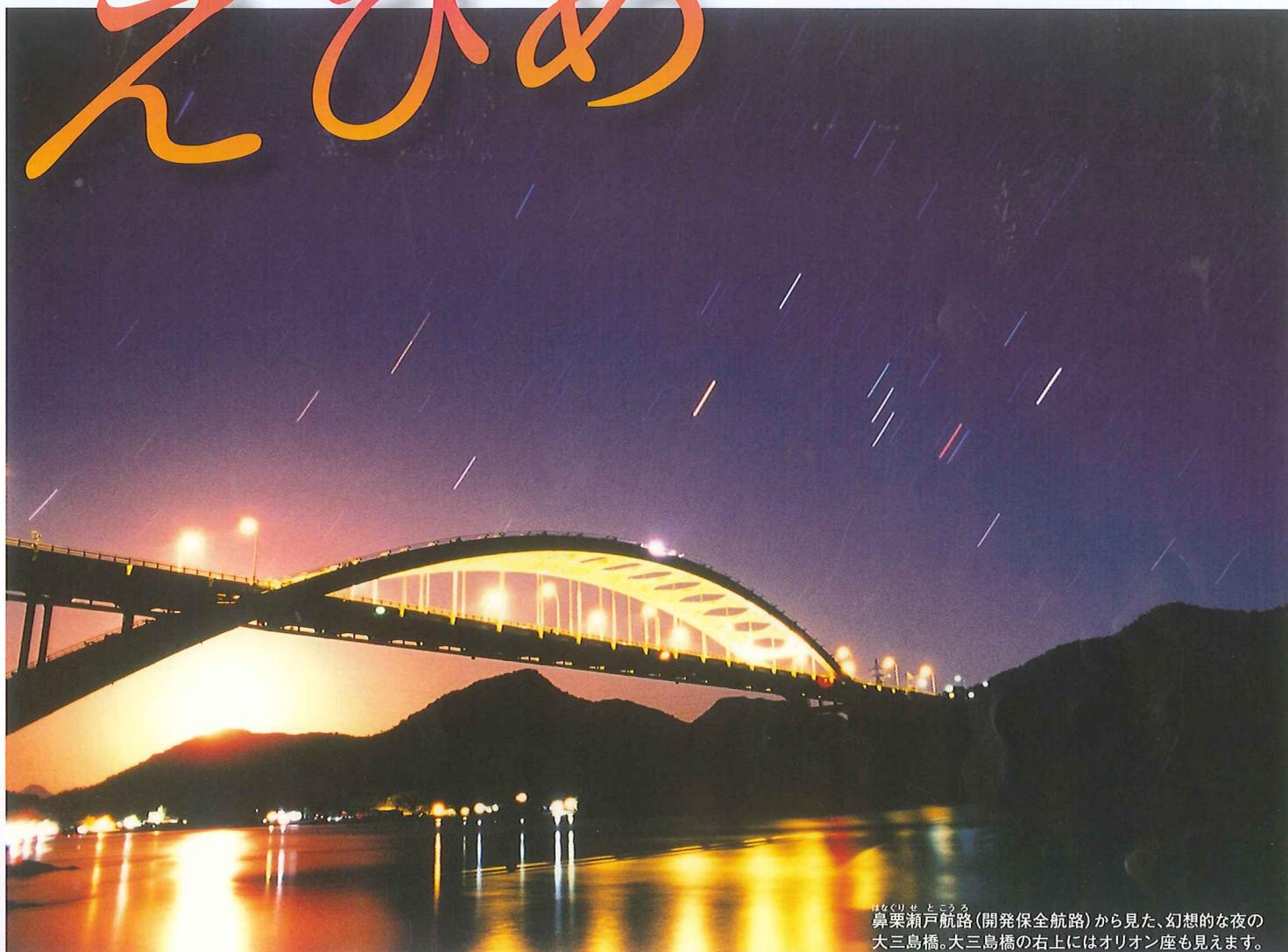


えひめ



鼻栗瀬戸航路(開発保全航路)から見た、幻想的な夜の大三島橋。大三島橋の右上にはオリオン座も見えます。

Contents

特集

地域貢献へのとりくみ ～夏のイベントリポート～

松山港海岸和気地区(堀江浜側)の一部供用を開始！
愛媛大学学生現場見学会を実施！
今治港みなとウォッチングを開催！

●ニュース&トピックス

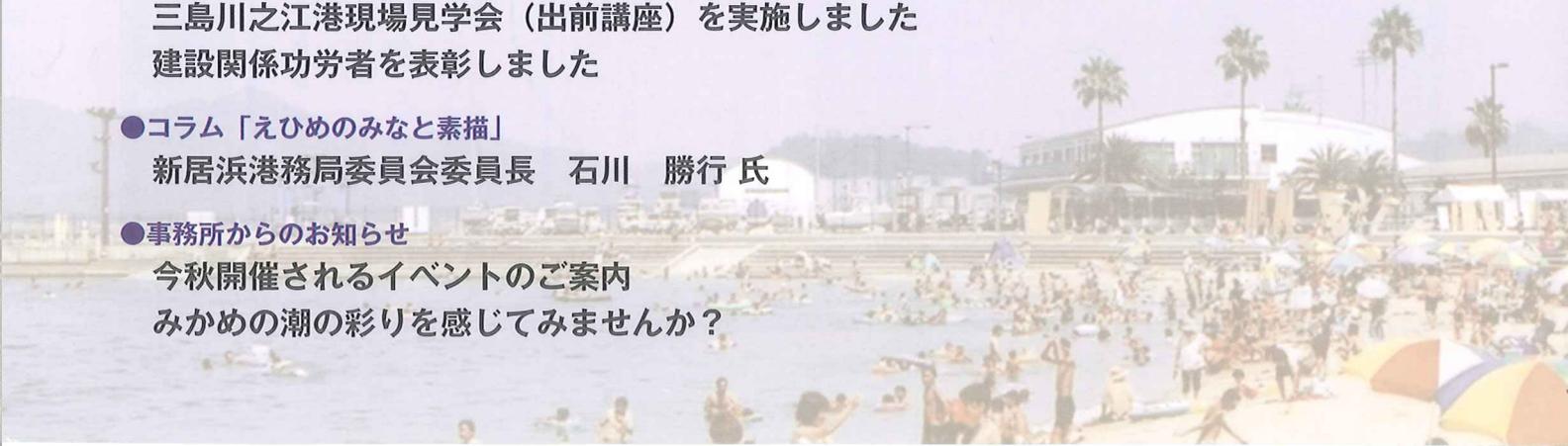
リフレッシュ瀬戸内(周木海水浴場)に参加しました
三島川之江港現場見学会(出前講座)を実施しました
建設関係功労者を表彰しました

●コラム「えひめのみなと素描」

新居浜港務局委員会委員長 石川 勝行氏

●事務所からのお知らせ

今秋開催されるイベントのご案内
みかめの潮の彩りを感じてみませんか？



松山港海岸和気地区(堀江浜側)の一部供用を開始!

海岸全体の早期完成を目指します

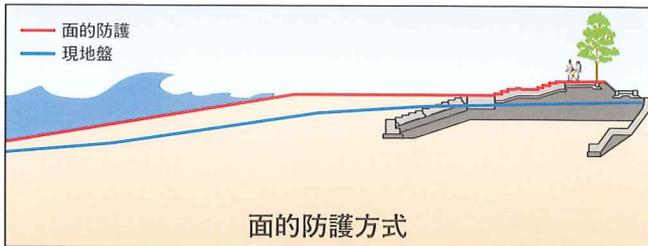
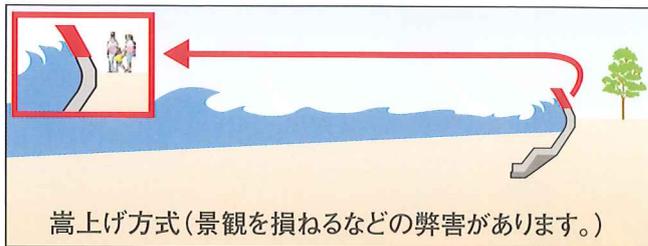
7月6日より、松山港海岸和気地区(堀江浜側)の一部供用を開始しました。

これは平成17年6月末から一部供用されている和気浜に続くものです。

松山港海岸和気地区は、防災施設(既存の堤防等)の老朽化や、波浪による砂浜の浸食に伴い、平成15年度より当所において、高潮対策としての整備を進めています。

整備にあたっては、砂浜の防災機能を生かし、砂浜・堤防・突堤といった複数の施設によって面的に防護する「面的防護方式」(右図)を採用して堤防の嵩上げを30cmにとどめるなど、人々の利用や周辺環境に配慮した施設整備を心がけております。

今回、堀江浜側の一部が一般開放されたことにより、松山港海岸全体の整備完了まであとわずかとなりました。今後も引き続き、地元住民の皆さまを始め、多くの関係者と連携しながら海岸全体の早期完成を目指します。



松山港海岸和気地区で採用されている「面的防護方式」

安心・安全で親しまれる海岸に

本来であれば、一部供用の日には、堀江小学校の6年生児童115名をご招待して、児童代表による海岸利用に対する「安全宣言」や、松山市消防局の職員による救命救急講習会などの記念イベントを実施する予定としておりましたが、当日はあいにくの悪天候により、イベントは中止となりました。

私たちも、美しくまた機能的に整備された堀江浜でのイベントを心待ちにしていただけに非常に残念でしたが、「美しい海岸を汚すことなく大切に使用したい。また、安全に十分気をつけて事故のないよう楽しく遊びたい」と、児童代表の乗松直樹くん(堀江小学校6年)より当所に対して安全宣言が寄せられました。

また、当所も児童の皆さんの「安全宣言」に対して、お礼状を得居校長先生にお渡しし、ますます地域の皆さまが安心して暮らせる海岸整備を進めていくことを伝えました。



一部供用後の堀江浜側の様子



安全宣言



松山港海岸和気地区(堀江浜側)の一部供用イベント

松山市立堀江小学校
乗松 直樹

本日(7月6日)は、ぼくたち堀江小学校6年生を招待していたとき本当にありがとうございました。ぼくたちは総合の時間を使って、堀江の歴史や文化や自然について学習しました。それらは他の校区にはない、大切なものです。目の前に広がっている美しい自然、そして数々の大切な史跡。その宝物はぼくたちが育て守っていかねければなりません。この美しい海岸を汚すことなく、大切に使用していきたいと思っております。安全に十分気をつけて、事故のないように楽しく遊びたいと思います。

堀江の自然がいつまでも美しく、自慢できるものであり続けるために、ぼくたち一人一人ができることを考え、実行していきたいと思っております。

松山港海岸和気地区(堀江浜側)の整備を美しく、安全にして下さり、ありがとうございます。ぼくたちが毎日安全に生活できるのも、皆さんが防災に對して気を配り、一生けん命働いておられるからだと思っております。

今日一日でたくさんのお話を学び、これらの生活に役立てたいと思います。よろしくお願いたします。

平成十九年七月六日
六年代表 堀江小学校
乗松 直樹

愛媛大学学生現場見学会を実施！ (松山港外港地区～松山空港～松山港海岸和気地区)

● 新入生・大学院生の延べ102名が参加

6月14日(木)、21日(木)、28日(木)の3週に渡り、愛媛大学工学部環境建設工学科の新入生及び大学院生の延べ102名(中村孝幸准教授)を対象に、現場見学会を実施しました。

今回は参加者を3班/週に分け、松山港外港地区、松山空港、松山港海岸和気地区の3カ所の事業現場を見学していただきました。実施した週により、雨が降っていたり、強い日差しが照りついたり、非常に厳しい天候ではありましたが、それぞれが真剣な面持ちで、各所の事業説明を聞き入っておられました。



岡林所長による事業概要説明

● 将来の担い手づくりへのサポート

現場見学会では、イントロダクションとして、担当職員が松山港の歴史を紹介しました。

松山港の歴史の紹介では、北は和気地区から南は今出地区までのそれぞれの特色ある港の役割やこれまでの成り立ちなどを説明しました。



将来、公務員を目指している学生さんも意外に多い!?

普段、なかなか見ることのできない各施設の見学の際は、熱心に写真撮影をしたり、メモをとるなど、学生さんの積極的な姿勢が伺えました。

特に、松山港海岸和気地区において、すでに一部開放されている和気浜側の見学の際には、海岸がこれほど美しく、また機能的に整備されていることについて驚きと興味を感じているようでした。

私たちの生活を支えている港・空港・海岸の役割や重要性を、実際に現場を見ることで理解し、今後の大学での勉強に少しでも生かしていただければ、現場見学会も有意義なものとなったのではないかと感じております。

今後も、当事務所では現場見学会などを通じて、地域への貢献に努めます。

愛媛大学の中村先生と学生の皆さま、大変お疲れ様でした。



外港地区(ー10m)岸壁で荷役作業中のコンテナ船

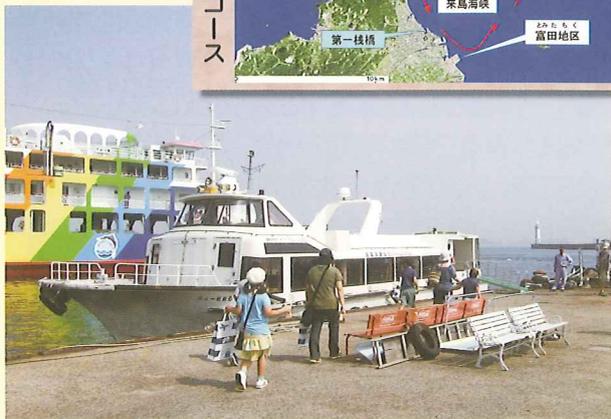


厳しい暑さの中、松山港海岸和気地区での事業説明

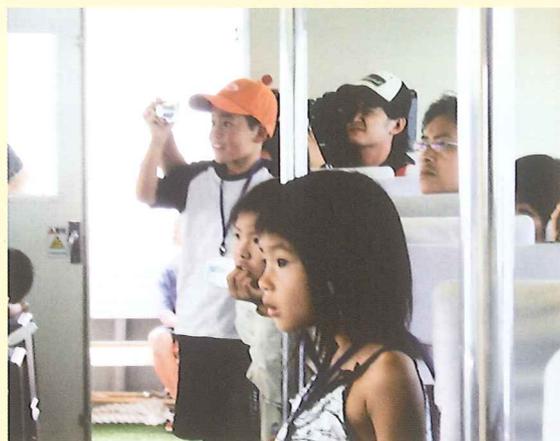
今治港みなとウォッチングを開催!

親子で今治港・しまなみ海道周辺をクルージング

8月1日(水)、「今治港みなとウォッチング」には約70名の夏休み真っ盛りの子供たちとその保護者の皆さまにご参加いただきました。当所が主催している本イベントは、クルージングを通して、「みなと」や「うみ」に慣れ親しんでもらい、また当所が整備を進める事業を地元の皆さまにも広く知っていただくために実施している毎年恒例のイベントです。なお今年度、NPO法人「四国みなとまち倶楽部」の方々にボランティア協力をいただきました。(誌面をお借りして、御礼申し上げます。)



さあ、今からクルージングに出発



子供たちも迫力ある「みなと」と「うみ」に興味津々

今治港の海上物流の中心である富田地区では、延長400mを超える岸壁と大きなクレーン、いくつもの山積みになったコンテナ、そして、このコンテナふ頭の静穏を保つために当所が整備を進めている防波堤をウォッチング。職員から、「この防波堤は高さ16mを超える大きなコンクリートの箱を何個も海に沈めて造り、完成すると500mにもなる」と聞いて、子供たちもとても驚きながらも真剣な眼差しで見入っていました。

波方沖(クルージングコース参照)で、当所所属の海面清掃兼油回収船「いしづち」が船舶航行の妨げとなる大きな流木を、多関節クレーンを使って回収作業を行っている様子を見学した際には、子供たちはもちろん、保護者の皆さまも大興奮。子供たちだけではなく大人の好奇心をもくすぐったようでした。

わずか2時間足らずのクルージングでしたが、「みなと」や「うみ」を身近に感じていただけるきっかけになったのではないのでしょうか。

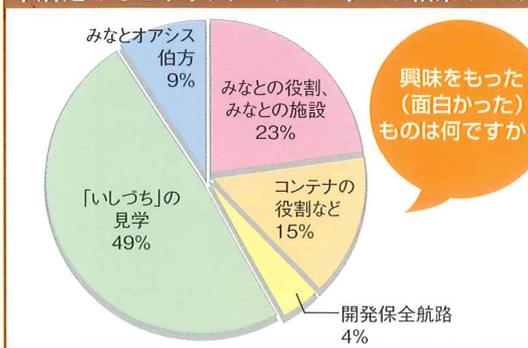


クレーンで流木を回収している様子

顔の見える事務所を目指します

本イベントのアンケート結果で、参加者からは、「事務所の仕事について理解できた」「違う角度から港を見ることができ良かった」「夏休みのいい思い出になった」など、大変うれしいご意見をいただきました。その反面、「船がゆれて気分が悪くなった」「説明の内容が難しい」などの意見もありました。貴重なご意見を参考に、今後も地域の皆さまにとって、「顔の見える事務所」を目指して、有意義なイベント作りをしてまいります。

今治港みなとウォッチングアンケート結果(抜粋)



リフレッシュ瀬戸内(周木海水浴場)に参加しました

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動の一環である「リフレッシュ瀬戸内」(海岸清掃)が7月8日に実施され、当所からも8名の職員が参加しました。

愛媛ブロックの拠点地である西予市の周木海水浴場に、地元住民など約180名が午前7時に集合し、開会式の後、約2時間の清掃を行いました。

開会式では、西予市の三好市長の挨拶で始まり、当所所長による挨拶の後、長年、海岸清掃を続けて来られた、「周木老人クラブ」の方々に対して、当所所長より感謝状が授与されました。

海岸では、それほど目立ったごみは見受けられませんでした。それでも、当日は45リットル用のゴミ袋、約200袋の回収がありました。また、冷蔵庫などの粗大ごみも漂着しており、美しい海を守るためには、たゆまぬ努力が必要であると感じました。

周木老人クラブの方々に感謝状を授与



子供から大人まで約180名が海岸清掃

三島川之江港現場見学会(出前講座)を実施しました

みなどの役割を多くの方々理解していただくため、7月11日に現場見学会が三島川之江港(四国中央市)で各施工業者主催の下、開催されました。当日は、あいにくの曇天にもかかわらず、中之庄なかのしょう小学校の5年生児童とその先生方の63名が参加されました。

見学会は、「みなとと四国中央市の発展」や「みなとの施設」についての出前講座を行った後、船に乗って実際の工事現場を見ていただきました。船内では、迫力ある海上作業を前に、児童からは歓声が上がったり、「あの石の重さはどのくらいあるの?」などといった質問が出るなど、楽しみながら理解を深めていただきました。



真剣に聞き入る中之庄小学校5年生児童の皆さん

建設関係功労者を表彰しました

7月30日、松山港湾・空港整備事務所では「国土交通day」にあたり、所長が港湾関係建設功労者を表彰しました。また、当日は四国地方整備局長からの海事功労者局長表彰状をあわせて伝達しました。

今回表彰されたのは、以下の3団体の皆さまです。(敬称略)

○海事関係功労者の四国地方整備局長表彰の受賞者

【海をきれいにする一般協力者の奉仕活動表彰】

受賞者：新川しんかわなぎさ会(伊予市)

功績：伊予市新川海岸における海岸清掃による永年の美化活動

○港湾関係建設功労者の松山港湾・空港整備事務所長表彰の受賞者

【優秀貢献工事表彰】

受賞者：アイエン工業株式会社

工事名：平成18年度

松山港外港地区岸壁(-13m)等工事

【優良下請企業表彰】

受賞者：今治新港湾株式会社

工事名：平成18年度

今治港富田地区防波堤築造工事



受賞された皆さま、おめでとうございます



新居浜港務局委員会委員長
いしかわ かつ ゆき
石川 勝行 氏

—プロフィール—

- 1970年 松山商科大学卒、愛媛県庁入庁
- 2003年 県民環境部長
- 2006年 西条地方局長
- 2007年 新居浜市副市長（現在）
新居浜港務局委員会委員長（現在）

新居浜のみなと紹介

新居浜港は住友企業により昭和の初めに築港された私港として発展してきた重要港湾です。また、昭和25年に制定された港湾法に基づく港務局制度により港務局が管理運営している日本で唯一の港湾なのです。

新居浜港の背後企業は主に東南アジア諸国との貿易が盛んであり、ここ数年で取扱貨物は急激な伸びを示しております。このような状況にありながら新居浜港には公共の大型の外貿対応岸壁がありません。地域産業の高度化・活性化の促進やコスト縮減のための輸送の合理化・効率化へ対応するため、新居浜港の本港地区において、水深12mの岸壁を備えた多目的国際ターミナルの整備に向けて検討を行っているところであります。

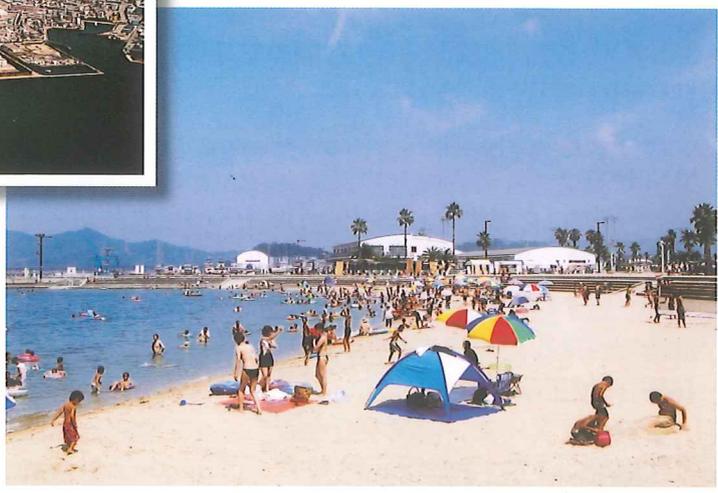
また、新居浜港の東港地区には、四国最大級の収容規模を有するマリナー施設や長さ300mの半円形のビーチ、芝生のキャンプ場などを備えた市民の憩いのレクリエーション施設である『マリンパーク新居浜』がございます。今年のお開きにあわせて人工海浜の愛称を一般公募し、マリンパーク新居浜内に175本のやしの木があることから『やしの木ビーチ』と命名されました。このマリンパーク新居浜内には腕利きのシェフが作るフランス料理を手頃な値段で食べられるレストラン『ブラン・ブルー』もございます。

新居浜へお越しの際は、ぜひマリンパーク新居浜へお立ち寄り下さい。



新居浜港全景の様子です。本港地区（写真中央）は、工業港としての性格を持ち、東港地区（写真左上隅）は、マリンパーク新居浜やフェリー岸壁が整備されており、工業港としての性格に加え、フェリー港・マリナーの性格も持っています。

海水浴客でにぎわうマリンパーク新居浜の「やしの木ビーチ」の様子です。





今秋開催されるイベントのご案内

私たちの事務所も出展しますので、ぜひお立ち寄り下さい。

みんなの生活展2007 (松山市主催)

開催日: 10/20(土)~21(日) 場所: 松山市大街道商店街

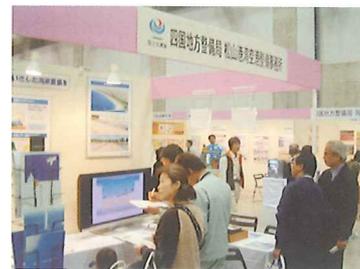
くらしと技術の建設フェア (四国地方整備局主催)

開催日: 11/16(金)~17(土) 場所: アイテムえひめ 大展示場

地球温暖化防止フェスティバル2007

(愛媛県地球温暖化防止活動推進センター主催)

開催日: 11/23(金・祝)~24(土) 場所: アイテムえひめ 大展示場



くらしと技術の建設フェア
当所ブースの様子
(H15年度出展時)

みかめの潮の彩りを感じてみませんか?

今回、西予市三瓶町にある、「みかめ海の駅 潮彩館」をご紹介します。

今年4月にオープンした「みかめ海の駅 潮彩館」は、JR八幡浜駅から車で20分ほどの三瓶港のそばにあり、地元特産の海産物や青果物の販売や、マンボウが泳ぐいけすがあることで知られています。

いけすでは、マンボウを始め、ネコザメやハリセンボンなど愛嬌あるさかなたちと気軽にふれあうことができ、人気を集めています。

そのほか、潮彩館のオリジナルジュースである「彩」は100%果汁の“清見”“サンフルーツ”“ニューサマーオレンジ”を取りそろえており、しばらくたてのすっきりとした味わいを堪能できます。

季節を問わず、見て、味わって、楽しめる潮彩館へ、皆さまも一度、足を運んでみてはいかがでしょうか?

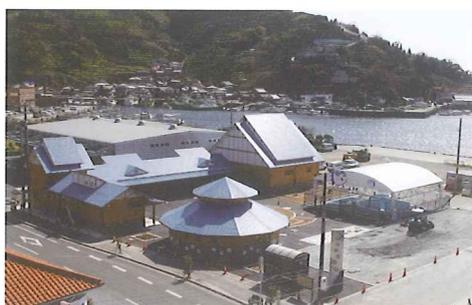


愛嬌あるマンボウたちに出会えます



えさ(有料) も与えることができます

- ・営業時間 9:00~18:30 (定休日は毎週水曜祝日に当たる場合はその翌日、12/29~1/4)
 - ※定休日でもマンボウは見られます。
 - ・その他詳細については下記まで
- 住所: 西予市三瓶町朝立1番耕地438番地287
TEL: 0894-33-3001
FAX: 0894-33-3015



みかめ海の駅
「潮彩館」の全景
(奥は三瓶港)



アクセスマップ



『松山や秋より高き天守閣』

これは、松山出身の俳人、正岡子規の詠んだ句ですが、まさにこの句のとおり、澄みきった秋空の広がる気持ちの良い季節となりました。読者の皆さまにおかれましても、それぞれの秋を満喫されていることと存じます。

さて、今年度より日中の最高気温が35℃以上を記録した日を「猛暑日」として定義する、気象用語の改正がありました。今年の夏は、まさにそれに歩調を合わせるかのような記録的な猛暑となりました。特に、岐阜県の高山市や埼玉県熊谷市では、74年ぶりに国内最高気温を更新する40.9℃を記録するなど、どれだけの猛暑であったかは、皆さまの記憶にまだ新しいかと思えます。

近年、地球温暖化の防止のため、CO₂の削減や、節電などの省エネルギー対策が脚光を浴びております。しかし、一部の地域で、電力が不足する危機に見舞われるなど、理想と現実を残念ながらかけ離れていると言わざるを得ませ

ん。当所におきましても、海面清掃船「いしづち」を稼働させるなど、微力ながら、海洋環境の整備に努めておりますが、職員一人一人が、環境への配慮を自覚しながら職務を遂行すべく努力していかなければならないと痛感している次第です。

本号は、今夏のイベント実施報告を中心に、当所の各方面にわたる取り組みの紹介を特集しております。私どもの事務所が、みなとや空港などの施設整備といったハード面の他にも、地域の皆さまへの貢献を意識した、ソフト面への取り組みも行っていることを理解して頂くためにも、是非ともご一読頂ければ幸いです。

100年後も、子規が見た松山の美しい空を残したいものです。



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所
所長 岡林 昭夫

編集後記

今年の8月に、我が家にオオクワガタの夫婦がやってきて、童心に返って世話をしております。皆さまは、どんな夏を過ごされましたか？今夏は、全国的に記録的な猛暑となりました。さぞかし厳しい暑さに耐えるだけで、心身共にお疲れのことと思います。

朝晩はだいぶ涼しくなってきました。そろそろ、オオクワガタは早めの越冬準備に入ります。私たちには越冬準備はまだ早いですが、季節の変わり目ですので、体調には十分気をつけて「〇〇の秋」をお迎えて下さい。

企画調整課 東

— 事務所位置図 —



〒791-8058 松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161(代表) FAX 089-946-8010



〒799-0402 四国中央市三島紙屋町6-45 四国中央市港湾庁舎
TEL 0896-24-1808(代表) FAX 0896-28-1036